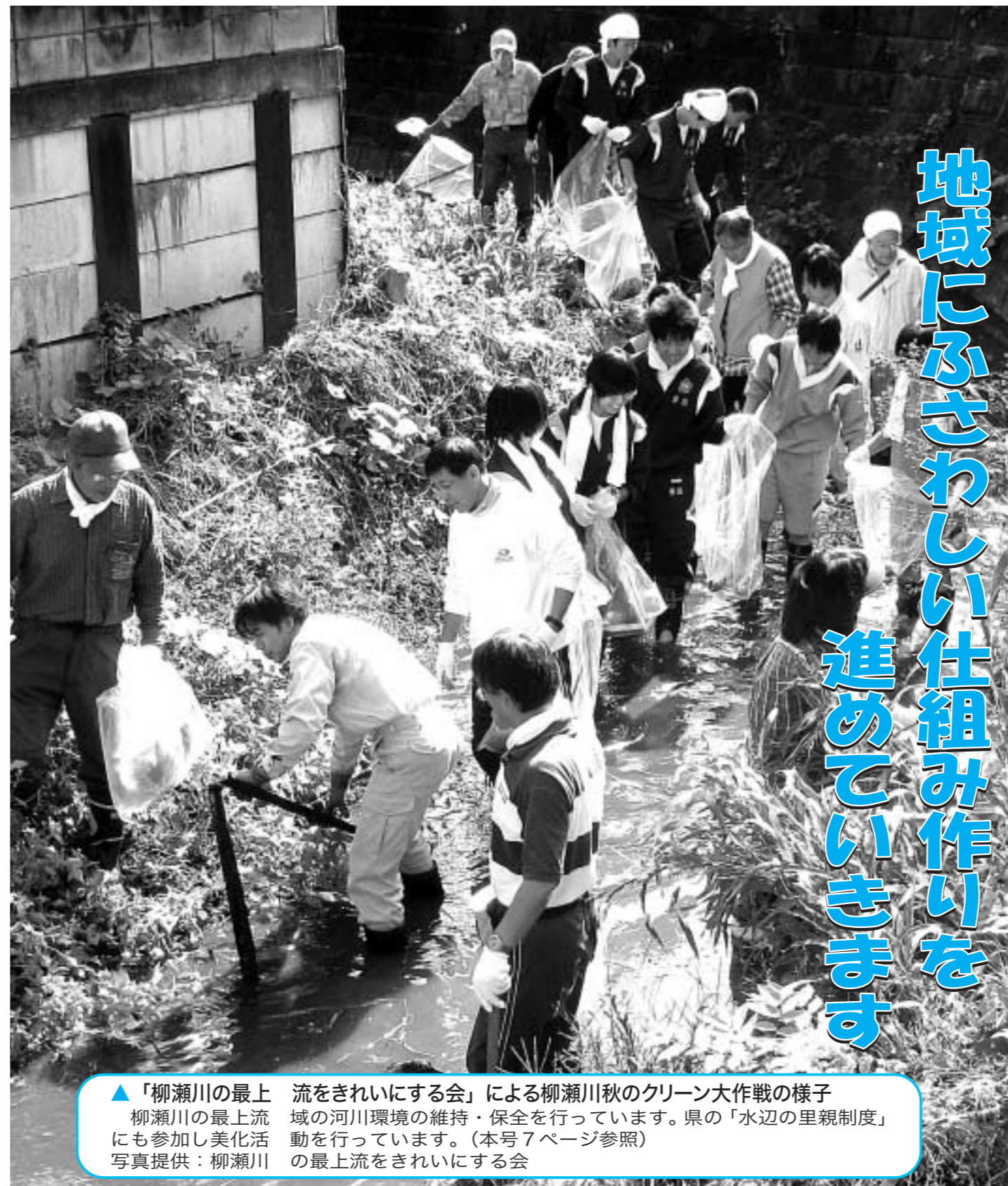
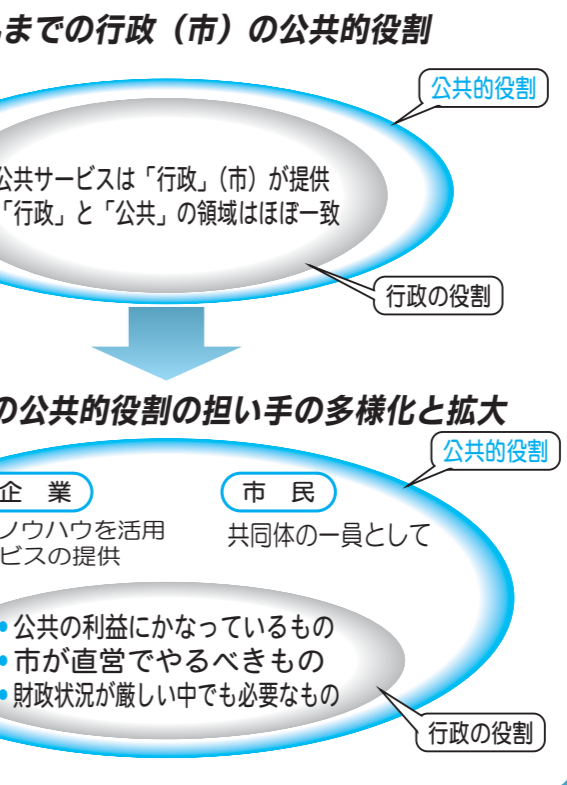




豊かな地域社会をつくるために キーワードは「協働」

社会環境の変化は、市民の皆さんもすでに感じられていることと思います。少子高齢化と人口の減少、保健・医療分野をはじめ、生活に密着する諸制度の改正など、私たちのくらしはこれまでの考え方を大きく変えていかなければならない状況に置かれています。そうした変化に対応するために、市の仕事の進め方も大きく見直さなければなりません。今回は、これからの行財政運営の基本的な考え方についてお伝えします。



地域にふさわしい仕組み作りを進めていきます

▲「柳瀬川の最上流をきれいにする会」による柳瀬川秋のクリーン大作戦の様子
柳瀬川の最上流にも参加し美化活動を行っています。（本号7ページ参照）
写真提供：柳瀬川の最上流をきれいにする会

「協働」とは何か
近年、市民のニーズは、多様化・高度化しています。このような状況で所沢市の特性を生かした豊かな地域をつくるためには、市の役割も根本から見直す必要があります。右図のように、「公共的役割」を市とともに市民や企業などの多様な主体が担うことが期待されています。

市民や企業などの役割
市が中心となっていた公共的役割を、市民や企業などが地域性や専門性を生かした範囲で担っていただくことにより、多様なニーズにきめ細かく応えられるようになりま。例えば、道路や河川の清掃などでは、身近に接している市民や地元企業が取り組むことにより、地域への愛着が生まれてコミュニティが活性化し、さまざまな工夫も可能になります。

市の役割
■専門的能力の活用
市の仕事は、生活の安全・安心、都市基盤の維持・管理、子どもたちの豊かな将来のための環境保全や教育・医療など、税金でまかなうべきサービスとして考える必要があります。また、企業などの専門的なノウハウを活用して、効果的にサービスを提供することも可能となります。

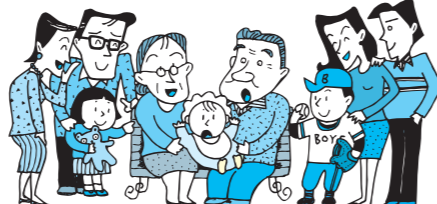
例えば、市民の力のみで対応することが難しい道路や河川の破損か所の補修や大規模な改修などは、企業の技術を活用した委託という形で、「安全の確保」という公共的なサービスを提供することが可能です。

■職員に期待される役割
市の職員でなければできない仕事として、例えば、道路や河川の改修を計画する際の地域住民への説明や委託事業者の選定、個人情報を扱う事務の適正な管理、市民の声を行政の活動へと反映させるための情報収集や全体的な合意形成の場の設定などがあげられます。これからは、市の職員が直接サービスを提供することよりも、市民・企業・市が協働したまちづくりができるように、裏方としての役割が求められるようになってきています。

これからの行財政運営
これまで述べてきた「公共的役割」の分担には、同時に負担の分担という面もあります。ニーズに応じたサービスを提供していくためには、市の事業や施策を選択し、限られた財源や職員をやりくりしなければなりません。「あれも、これも」ではなく「あれか、これか」へ、さらには「だが、どのように」も重要な視点となっています。市の財政状況を私たちの「家計」に例えると、「限られたお財布の中味を使い方がほぼ決まっている」状態であり、今後はさらに支出が膨らんでいきます。

このままでは、「入ってくるお金を上回る支払いが発生する」状態になると予想されます。市の収入はサラリーマン世帯による「個人市民税」と「固定資産税」が約6割を占めています。このため、高齢化世帯の増加や景気低迷の影響を受けて、平成19年度以降、市の収入は減少すると見込まれています。その結果、平成21年度からは通常の業務を行うにも、借金なしには立ち行かない状態となるのが予想されます。

その一方で、子どもたちの世代に過重な負担を残さないためにも、これからは「身の丈（財政状況）にあった」仕事を選択し重点化する必要があります。真に求められる市のサービスは何か、どのようなノウハウを發揮して効果的に市のサービスを提供できるかを考えながら、これまでもまして行財政改革に取り組みしていきます。具体的な取り組みについては、広報「ところざわ」で継続的にお知らせします。ご理解とご協力をお願いします。



多様な人々との協働が豊かな地域社会を築く



市長 当麻 よし子

少子高齢化、核家族や単身世帯の増加など社会構造が変わり、市役所や地域社会に求められる役割も変容しています。くらしよい豊かな地域社会を創るための市役所の役割と行財政改革への取り組み、そして市民や事業者など社会を構成する多様な人々との協働のあり方等について、市民の皆様と双方向の議論を展開し方向性を定めていきたいと考えています。これからも市政に対しましてご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

『もの』と『知恵』を最大限活用する ～コスト削減と歳入確保への一層の取り組み～

市は、現在ある「人・もの・知恵」を有効に活用していくことを基本に取り組みを進めています。現在実施しているすべての事務事業に対し、新たな事業経費を捻出するために効果の低い事業を取りやめる「ビルド&スクラップ」の姿勢を引き続き徹底します。また、負担の公平性の観点から、税等の収納力をさらに強化し、財政の安定化に努めているところです。ほかにも、公共施設の空きスペースを活用して、利用価値の高い活動に振り当てるなど、単に経費の面に留まらずに、効果的な活動への転換を図ることも着実に前進させていき、質の高い行政運営に取り組んでまいります。



「協働」は、さまざまな分野ではじめられています

地域の人たちが自らの考えと行動で地域をつくっていく活動が広がっています。市と地域の人たち・企業等が公共目的を共有して、協力・連携します。分権が進む中、「福祉」「環境」「防災」「教育」「都市計画」……とさまざまな分野で地域の果たす役割は一段と大きなものになっており、「地域の力」が豊かな地域社会を形づくっていきます。



▲「お花畑ボランティア」による北野のお花畑での種まき
種まきから開花までの間、市民の安らぎの場となるお花畑を、花の好きな市民と職員が一緒に作ります。問い合わせ 農政課（☎2998-9158・FAX2998-9162）



▲地域福祉コミュニティ推進事業（松井地区）
地域の福祉課題をもとに、住民が主体的に課題を解決し、協働で取り組む意識を実践的・体験的なプログラムを通じて学びます。問い合わせ 福祉総務課（☎2998-9113・FAX2998-9269）



▲「エコ企業ネットとところざわ」によるクリーンウォーク運動
環境に関する情報の交換や環境セミナー・研修会の開催、地域環境保全に係る事業への参加等を計画し実施しています。問い合わせ 環境総務課（☎2998-9133・FAX2998-9394）